

3. トラブルになりそうな場面で、どのような話し方をすればよいかを考える。
【10分】

【スライド5】
○トラブルになりそうな場面でどのような話し方をしたらよいかについて学習します。

【トラブルになりそうな場面①】
次の国語の授業で、グループの意見をまとめて発表することになりました。グループ内で役割を決めています。AさんかBさんがグループ代表の発表者をしなければならなくなりました。Aさんは、Bさんに頼もうとしています。

- (1) Aさんの話し方を考える。
- (2) モデリングを見る。

○もし、あなたがAさんだとしたら、Bさんにどのように頼みますか。

【スライド6】
○3つの話し方を動画で見てください。どれがトラブルにならない話し方か、Bさんの気持ちになって見てみましょう。

【スライド7(動画)】
○1つ目の話し方です。

- ・数名を指名し、発表させる。
- ・モデリング動画を使用せずに、教師や生徒でモデリングを行ってもよい。その場合は、事前に打合せや練習を行っておく。
- ・話し方に注目させるために、「聴く役」は役割カードを首に掛けてモデリングを行い、話し方の違いが明確になるように演じる。

モデリングⅠ 攻撃的な話し方(強い口調で、一方的に)
A: 国語の発表者、Bがするってことでいいだろ。
B: えっ?なんで?
A: いいから!わかったね。
B: …もう…。(一方的に言われて、ムツとした表情になる)

【スライド8(動画)】
○2つ目の話し方です。

モデリングⅡ 非主張的な話し方(下を向いて、小声で)
A: ねえ、あのさ…。国語の発表のことだけど…。
B: 何?
A: えっとね。実は…。あのう…。
B: だから、何?(言いたいことが分からなくて、首をかしげる)

【スライド9(動画)】
○3つ目の話し方です。

モデリングⅢ トラブルにならないような話し方(ていねいに、はっきりとした口調で)
A: ねえ、あのさ。
B: なに?
A: 国語の発表者を決めないといけないね。
B: うん。そうだったね。
A: この前の理科で発表したから、他の人に発表してもらいたいんだけど。
よかったらBに国語の発表をやってほしいなあ。
B: う～ん、嫌だよ。発表の原稿づくり、自信がないんだ…
A: 発表の原稿づくりだったら、手伝うよ。
B: じゃあ、分かった。やってみる。

A：ありがとう。

(3) トラブルにならないような話し方のポイントを考える。

【スライド10】

- 3つの話し方のうち、どれがトラブルにならない話し方だと思いますか。
 - ・3つ目
- 1つ目、2つ目の話し方は、どのような話し方に聞こえましたか。
 - ・押し付けている（攻撃的）
 - ・言いたいことが分からない（非主張的）
- 1つ目、2つ目の話し方は、相手に一方的に自分の言い分を押し付けたり、自分の言いたいことをはっきり伝えていなかったりして、互いが気持ちのよい会話になっていません。このような話し方では、いつかトラブルになるかもしれませんね。

【スライド11】

- 3つ目の話し方は、どのようなところが良かったと思いますか。
 - ・ていねいに言っているところ
 - ・手伝うと言っているところ
 - ・相手の気持ちを考えて言っているところ
- 3つ目の話し方には、トラブルにならないような話し方のポイントが入っています。どのようなポイントが入っているか、Aさんの台詞を順番に確認していきましょう。
- 「国語の発表者を決めないといけないよね」と、事実（問題）の確認をしています。
- 「他の人に発表してもらいたいんだけど」と、自分の気持ちを伝えています。
- 「よかったらBに国語の発表をやってほしいなあ」と、相手にどうしてほしいのかを提案しています。
- 「発表の原稿づくりだったら、手伝うよ」と、解決につながる提案をしています。

【スライド12】

○話し方のポイントをワークシートに書きましよう。

【話し方のポイント】

- ① 事実（問題）の確認をする
- ② 自分の気持ちを伝える
- ③ 相手にどうしてほしいのかを提案する
- ④ 解決につながる提案をする

【スライド13】

4. 話し方のポイント

・どのようなところが良かったか、気づきを出させる。

・内容の部分の気づきが十分出ない場合も考えられる。トラブルにならないような話し方のポイントを、スライドで提示するときに説明を加える。

・ワークシートを配付して、話し方のポイントを書かせる。

<p>を使って練習をする</p>	<p>○練習をします。練習するときの約束を確認します。</p>	<p>・実際に行動できるようにするためには、約束を守って練習することが大切であることを伝える。</p>
<p>(1) 練習1 【3分】</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・恥ずかしくない ・冷やかさない ・よいところを見付ける </div> <p>【スライド14】 ○3つ目の場面を全員で練習してみましょう。</p> <p>○私がBさん役をやります。皆さんはAさん役をしてください。</p> <p>○話し方のポイントを意識しながら、互いに気持ちのよい会話ができるように話してください。</p> <p>○練習を振り返りましょう。話し方のポイントが入った会話が理解できましたか。</p>	
<p>(2) 練習2 【25分】</p>	<p>【スライド15】 ○次の練習は、トラブルにならないような話し方の台詞を考えてから行います。掃除で使ったバケツの後片付けをAさんが、Bさんに頼む場面です。場面①の台詞を参考にしながら、話し方のポイントを使って、ワークシートの2の(1)に台詞を書いてシナリオを完成させましょう。</p>	
<p>【トラブルになりそうな場面②】 掃除が終わると、Bさんはいつもバケツの後片付けをせずに、先に教室に帰ってしまいます。そのため、同じ掃除グループのAさんは、いつもバケツの後片付けをすることになり困っています。 Aさんは、Bさんに今日こそはバケツの後片付けをしてほしいと頼みに行きます。Bさんとトラブルにならないようにするためには、Aさんはどのような話し方をすればよいでしょうか。</p>		
	<p>【スライド16】 ○4人グループになり、自分の書いたシナリオを発表して、話し方の練習をします。</p> <p>【スライド17】 ○Aさん役とBさん役、観察役(2人)に分かれて練習をします。</p> <p>○Bさん役と観察役は、友達の発表を聞いて話し方のポイントが入っていたら、ワークシートの2の(2)に○印を付けてチェックをしましょう。④のポイントは、◎はきっと解決する素晴らしい提案、○はたぶん解決に向かうだろうという提案、△はこのままだと解決しないのではないかと心配な提案の3段階で評価をしてください。また、ポイント以外の良いところを書きましょう。</p>	<p>・表情や口調などもコミュニケーションのポイントとして着目させる。</p>

<p>5. 聴き方の基本的なポイントを知る。 【3分】</p>	<p>【スライド18】</p> <p>○練習を始めます。Aさんの台詞が思い付かなかった人は、シナリオの例を参考にしながら発表しましょう。</p> <p>○全員の練習が終わったグループは、④の提案について良かったところや改善点など気付いたことを出し合ひましょう。</p> <p>○Aさんを何人かに演じてもらい、話し方のポイントをもう一度確認したいと思います。</p> <p>○話し方のポイント以外の良いところを見つけた人は発表してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手を見て話をしていた。 ・相手の立場に立って、優しく話をしていた。 <p>○これらのこともコミュニケーションのポイントとして、トラブルにならないためには大切なことです。</p> <p>【スライド19】</p> <p>○トラブルにならないようにするためには、今日学習した話し方だけでなく聴き方も大切です。</p> <p>○聴き方には次のようなポイントがあります。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【聴き方のポイント】</p> <p>① 相手を見て、うなずきながら聴く</p> <p>② 最後まで聴く</p> <p>③ 相手の気持ちを言葉や表情から読み取りながら聴く</p> </div>	<p>・話し方の良かった生徒を数名紹介し、話し方のポイントを再確認する。</p>
<p>6. 本時の学習を振り返る。 【5分】</p>	<p>【スライド20】</p> <p>○今日学習したことを振り返ります。振り返りシートに記入しましょう。</p> <p>○今日の学習の気付きや感想を発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の話し方を振り返ることができた。 ・話し方にポイントがあることを初めて知った。 ・トラブルになりたくないの、ポイントを意識して話したい。 ・相手を意識して、話を聴くようにしたい。 <p>○今日、学習した話し方や聴き方のポイントを使ってトラブルにならないような自分も相手も大切にしたいコミュニケーションができるとよいですね。</p> <p>○次の時間は、トラブルが起きたときに、間に入って声を掛けるトラブル解決のスキルについて学習します。</p>	<p>・振り返りシートを配付する。</p> <p>・振り返りシートに記入したことをグループで発表し合った後に、全体場で発表させる。</p> <p>・机間指導をしながら、生徒が書いている内容を確認して、発表する生徒がいない場合は、それを紹介してもよい。</p> <p>・次時の学習について知らせる。</p>

◆評価の視点

- ・トラブルにならないような話し方について考え、練習することができたか。

◆授業後の取り扱い

- ・生徒の感想を朝の会や帰りの会、学級通信などで紹介する。
- ・学習したポイントを学級内に掲示し、折に触れて確認する。
- ・学級通信などで活動の内容を紹介し、家庭での様子を見守っていただくようにする。
- ・学年間で活動内容等を共有し、学校生活における生徒の様子を観察する。

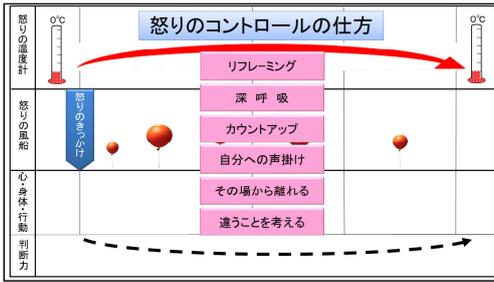
板書計画(3時目)

【めあて】トラブルにならないような話し方を練習しよう

<p>【図や表など】</p>  <p>※導入のためのグラフや表、または前時の学習で使用した資料などを提示します。</p>	<p>【話し方のポイント】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 事実(問題)の確認をする ② 自分の気持ちを伝える ③ 相手にどうしてほしいのかを提案する ④ 解決につながる提案をする <p>※ポイントは「・」や「①②③・・・」などで示します。それ以外に生徒からヒントとなる意見が出された場合も、下方に板書しておきます。</p>	<p>【練習するときの約束】</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 恥ずかしがらない ・ 冷やかさない ・ よいところを見付ける </div> <p>※練習がスムーズに進められるように、役割の進め方を掲示したり相互評価の仕方の説明を板書したりします。</p>	<p>【役割の進め方】</p> <div style="text-align: center;"> <p>話す役</p> <p>↓</p> <p>聴く役</p> <p>↓</p> <p>観察役①</p> <p>↓</p> <p>観察役②</p> </div>	<p>【聴き方のポイント】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 相手を見て、うなずきながら聴く ② 最後まで聴く ③ 相手の気持ちを言葉や表情から読み取りながら聴く <p>※ポイントは「・」や「①②③・・・」などで示します。</p>
--	--	--	--	---

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド1】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】
 (●印のとき、アニメーションを動かす)

- 前の時間は、怒りのコントロールの仕方を学習しました。
- なるべく早い段階で、自分や周りの人を傷付けないように、怒りを上手に外に出す方法として、
 - 「リフレーミング」や
 - 「深呼吸」
 - 「カウントアップ」
 - 「自分への声掛け」
 - 「その場から離れる」
 - 「違うことを考える」など、自分なりの方法を使うことで
 - 怒りをコントロールすることができるということを学びました。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド3】

トラブルが起きないようにするには・・・

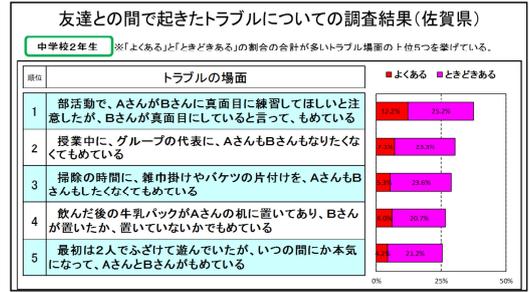
- ・トラブルにならないような話し方
- ・トラブルにならないような聴き方

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

互いに相手を大切に話し方や聴き方をすることで、自分も相手も互いの気持ちを分かり合うことができ、トラブルになりにくいと思います。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド2】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】
 (●印のとき、アニメーションを動かす)

- でも実際には、怒りをコントロールすることが難しく、友達とトラブルになったりもめたりすることがあります。
- なぜ、このようなトラブルが起きるのでしょうか。
- ・言い方が悪いから
 - ・自分の意見ばかりを言うから
 - ・相手の考えを聞かないから

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド4】

今日のめあて

トラブルにならないような話し方を練習しよう

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

今日は、トラブルにならないような話し方を練習します。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

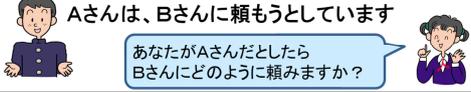
【スライド5】

トラブルになりそうな場面①

次の国語の授業で、グループの意見をまとめて発表することになりました。
グループ内で役割を決めています。
AさんかBさんがグループ代表の発表者をしなければならなくなりました。

Aさんは、Bさんに頼もうとしています

あなたがAさんだとしたら
Bさんにどのように頼みますか？



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

トラブルになりそうな場面でのような話し方をしたらよいかについて学習します。

次の国語の授業で、グループの意見をまとめて発表することになりました。
グループ内で役割を決めています。
AさんかBさんがグループ代表の発表者をしなければならなくなりました。
Aさんは、Bさんに頼もうとしています。

もし、あなたがAさんだとしたら、Bさんにどのように頼みますか。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド6】

3つの話し方のうち
トラブルにならない話し方は
どれだろう？

Bさんの気持ちになって
見てみましょう

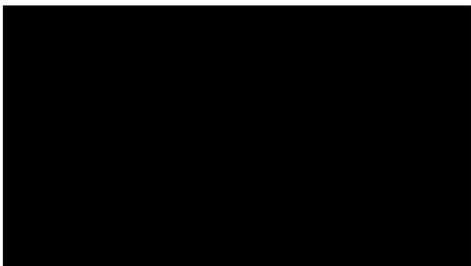


【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

3つの話し方を動画で見てください。どれがトラブルにならない話し方か、Bさんの気持ちになって見てみましょう。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド7】



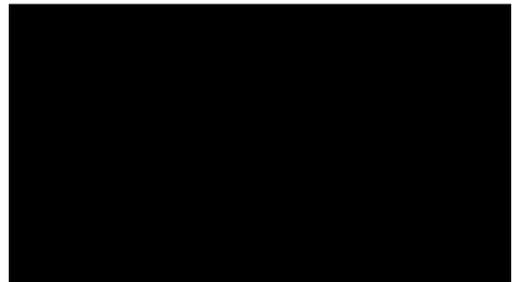
【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

※生徒が普段使っている言葉に直して提示するとより効果的です。

1つ目の話し方です。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド8】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

※生徒が普段使っている言葉に直して提示するとより効果的です。

2つ目の話し方です。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド9】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

※生徒が普段使っている言葉に直して提示するとより効果的です。

3つ目の話し方です。

【スライド10】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

3つの話し方のうち、どれがトラブルにならない話し方だと思いますか。
・3つ目

1つ目、2つ目の話し方は、どのような話し方に聞こえましたか。

- ・押し付けている(攻撃的)
- ・言いたいことが分からない(非主張的)

1つ目、2つ目の話し方は、相手に一方的に自分の言い分を押し付けたり、自分の言いたいことをはっきり伝えていなかったりして、互いが気持ちのよい会話になっていません。このような話し方では、いつかトラブルになるかもしれませんね。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド11】

【モデリング Ⅲ】

A: ねえ。あのさ。
B: なに?
A: 国語の発表者を決めないといけないよね。
B: うん。そうだったね。
A: この前の理科の授業で発表したから、他の人に発表してもらいたいんだけど。よかったらBに国語の発表をやってもらいたいなあ。
B: う～ん、嫌だよ。でも発表の原稿づくり、自信がないんだ…。
A: 発表の原稿づくりだったら、できそうだよ。手伝うよ。
B: じゃあ、分かった。やってみる。
A: ありがとう。

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

(●印のとき、アニメーションを動かす)

※生徒が普段使っている言葉に直して提示するとより効果的です。

3つ目の話し方は、どのようところがよかったと思いますか。

- ・いいねいと言っているところ
- ・手伝うと言っているところ
- ・相手の気持ちを考えて言っているところ

3つ目の話し方には、トラブルにならない話し方のポイントが入っています。どのようなポイントが入っているか、Aさんの台詞を順番に確認していきましょう。

- 「国語の発表者を決めないといけないよね」と、事実(問題)の確認をしています。
- 「ほかの人に発表してもらいたいんだけど」と、自分の気持ちを伝えています。
- 「よかったら、Bに国語の発表をやってほしいなあ」と、相手にどうしてほしいのかを提案しています。
- 「発表の原稿づくりだったら手伝うよ」と、解決につながる提案をしています。

【スライド12】

話し方のポイント

「国語の発表者を決めないといけないね」 → ① 事実(問題)の確認をする

「この前の理科の授業で発表したから、他の人に発表してもらいたいんだけど」 → ② 自分の気持ちを伝える

「よかったら、Bに国語の発表をやってもらいたいなあ」 → ③ 相手にどうしてほしいのかを提案する

「発表の原稿づくりだったら、手伝うよ。」 → ④ 解決につながる提案をする

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

(●印のとき、アニメーションを動かす)

話し方のポイントをワークシートに書きましょう。

- ① 事実(問題)の確認をする
- ② 自分の気持ちを伝える
- ③ 相手にどうしてほしいのかを提案する
- ④ 解決につながる提案をする

です。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド13】

【練習するときの約束】

- ・ 恥ずかしがらない
- ・ 冷やかさない
- ・ よいところを見付ける

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

練習をします。練習するときの約束を確認します。
恥ずかしがらない、冷やかさない、よいところを見付けます。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド14】

A: ねえ。あのさ。
B: なに?
A: 国語の発表者を決めないといけないよね。
B: うん。そうだったね。
A: この前の理科の授業で発表したから、他の人に発表してもらいた
いんだけど。よかったらBに国語の発表をやってもらいたいなあ。
B: う～ん、嫌だよ。でも発表の原稿づくり、自信がないんだ・・・。
A: 発表の原稿づくりだったら、できそうだよ。手伝うよ。
B: じゃあ、分かった。やってみる。
A: ありがとう。

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

※生徒が普段使っている言葉に直して提示するとより効果的です。

3つ目の場面を全員で練習してみましょう。
私が、Bさん役をやります。皆さんはAさん役をしてください。
話し方のポイントを意識しながら、互いに気持ちのよい会話ができるように
話してください。

練習を振り返りましょう。
話し方のポイントが入った会話が理解できましたか。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド15】

トラブルになりそうな場面②

掃除の時間、
Aさんはいつもバケツの片付けをしています。

Aさんは、掃除で使ったバケツの片付けを
Bさんに頼もうとしています

Aさんは、Bさんにどのような言い方をすれば
よいでしょうか？
Aさんの台詞を考えて、ワークシートに記入し
ましょう。

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

次の練習は、トラブルにならないような話し方の台詞を考えてから行います。
掃除で使ったバケツの後片付けをAさんが、Bさんに頼む場面です。
場面①の台詞を参考にしながら、
話し方のポイントを使って、ワークシートの2の(1)に台詞を書いてシナリオを
完成させましょう。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド16】

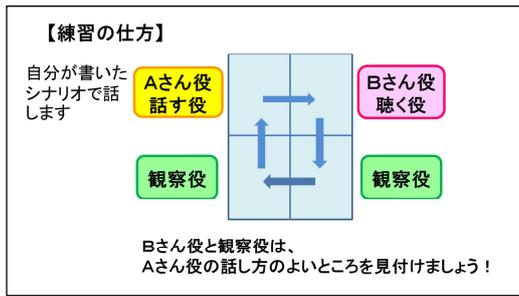
グループで練習します

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

4人グループになり、自分の書いたシナリオを発表して、話し方の練習をします。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド17】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

Aさん役とBさん役、観察役（2人）に分かれて練習をします。
Bさん役と観察役は、友達の発表を見て、トラブルにならないような話し方のポイントが入っていたら、ワークシートの2の(2)に○印を付けてチェックをしましょう。
④のポイントは、◎はきっと解決する素晴らしい提案、○はたぶん解決に向かうだろうという提案、△はそのままだと解決しないのではないかと心配な提案の3段階で評価してください。
また、ポイント以外の良いところを書きましょう。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド18】

シナリオの例

A: ねえ、昨日もおとといも、バケツの片付けしなかったよね？

B: あ、うん。

A: いつも片付けをするのは大変なんだ。
今週は、Aさんが片付けてくれないかな？

B: えー、金曜日は無理だよ。

A: 分かった。交互にするのはどうかな？

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

練習を始めます。
Aさんの台詞が思い付かなかった人は、シナリオの例を参考にしながら、発表しましょう。
全員の練習が終わったグループは、④の提案について良かったところや改善点など気付いたことを出し合います。

Aさんを何人かに演じてもらい、話し方のポイントをもう一度確認したいと思います。

話し方のポイント以外の良いところを見つけた人は発表してください。
・相手を見て話をしていた
・相手の立場に立って、優しく話をしていた

これらのこともコミュニケーションのポイントとして、トラブルにならないためには大切なことです。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド19】

聴き方のポイント

- ① 相手を見て、うなずきながら聴く
- ② 最後まで聴く
- ③ 相手の気持ちを言葉や表情から読み取りながら聴く

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

トラブルにならないようにするためには、今日学習した話し方だけでなく聴き方も大切です。

聴き方には、次のようなポイントがあります。

- ① 相手を見て、うなずきながら聴く
- ② 最後まで聴く
- ③ 相手の気持ちを言葉や表情から読み取りながら聴く

です。

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド20】

今日の活動を振り返って、
「振り返りシート」に記入しましょう

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

今日学習したことを振り返ります。
振り返りシートに記入しましょう。

今日の学習の気付きや感想を発表しましょう。

今日、学習した話し方や聴き方のポイントを使って、トラブルにならないような自分も相手も大切にしたコミュニケーションができるとういすね。

次の時間は、トラブルが起きたときに、間に入って声を掛けるトラブル解決のスキルについて学習します。